

新聞から知っている漢字を探そう

源波好子 青森県八戸市立根岸^{ねがし}小学校教諭

1 課題のねらい

児童が新聞を情報獲得手段として使用しないのは「漢字が読めない」「面倒だ」という理由があり、また、日ごろの学習場面でも、漢字は覚えにくいからいやだという声があげられる。学習したことが生活と密着していないためである。

新聞から既習漢字を探し出すことによって、自分の生活と言葉のかかわりを知り、新聞に親しむことができる。

2 学習内容

時

主な発問・指示

指導のポイント

1

どの漢字が仲間どうしかみつけよう。

・板書

かんじをなかまで分けよう

一 春 百 北 十 千 夏
東 秋 西 冬 南 雪 雨

- ・板書と同じプリントを用意し、色別に○で囲ませ仲間分けをさせる。
- ・なぜ仲間なのか、理由も考えさせる。
- ・漢字の共通性について話し合わせる。
- ・漢字には共通の意味により、仲間になるものがあることを理解させる。
- ・漢字を構成する部首・字の形で仲間分けをすることも認める。

2
・
3

知っている漢字・読める漢字全部を赤丸で囲もう。

仲間になる漢字に分けてみよう。

おもしろ辞典を作ろう。

- ・集められる限りの新聞を用意する。
- ・児童が使いたい新聞を選ばせる。
- ・既習漢字が定着していない児童のために、教科書を参考にしてもよい。
- ・分類するテーマを考えさせ、調べさせる。
- ・ハツ切大の用紙に記入させる。
- ・テーマが思い浮かばない児童には、前時の学習を想起させたり、具体的な意味から言葉を集めるよう助言する。

3 評価

- ・意欲的に漢字を探ることができたか。
- ・新聞記事からたくさんの既習漢字を探し出すことができたか。
- ・意味や部首・つくりで漢字の仲間分けをすることができたか。
- ・新聞には自分の知っている漢字がたくさん載っていて、自分も読めるかもしれないと気付くことができたか。

4 関連する他の分野・単元

▶漢字の組み立て

